

第2回 戸塚区品濃町最終処分場検証委員会会議録

日時 平成18年3月24日(金)午前9時から午前10時30分まで

開催場所 新横浜フジビューホテル 本館3階 竹の間

出席者 (委員)

小賀野委員長、作本委員、高井委員、田中委員、徳江委員
(横浜市)

資源循環局長、副局長、適正処理部長、産業廃棄物対策担当部長、総務課長、産業廃棄物対策課長、適正処理監視指導担当課長、他事務局8名 計15名

開催形態 公開(傍聴者 4人)

決定事項 検証を行うにあたって、検証範囲を会議資料1(戸塚区品濃町最終処分場の埋立状況と経緯)のD～Fの期間、F～Kの期間、K～Qの期間及びR～現在までの4つの期間に分けて進めていく。

議事 事案の検証(埋立状況と経緯)

- ・事務局から、資料1に基づき、埋立状況と経緯について説明した。
- ・検証範囲の整理、重点的に検証すべき点等が議論され、概ね4つの期間に分けて検証を進めていくこととした。

(主な意見等)

- ・見ただけで埋立容量を超えているのがわかっても行政処分はできないのか。
(事務局回答) 行政処分を行うには測量による正確な数値の把握が必要と考えられる。
- ・Fの第1回措置命令の「原状回復措置」とはどういうことか。また、Gの変更許可は現状追認ではないのか。
(事務局回答) 「原状回復措置」の中に許可容量以内にするということも含まれていると考える。
- ・Iで処理業許可をしているが、受入可能な埋立容量があったのか。
(事務局回答) Iの処理業許可時はGの施設変更により、新たに受入が可能となっていた。
- ・行政対応について、法律の運用や手順の妥当性、この企業に対してどのような方向性での対応を考えていたのか検証が必要。
- ・長期にわたり、これほど慎重な対応が必要だったのか。指導や事業停止を繰り返さずに、許可取消までの期間を短縮することも必要だったのではないか。
- ・埋立容量は徐々に増やしていくものなのか。
(事務局回答) 容量増加は、平成4年7月までは届出制、平成4年7月以降は許可制(10%以上の増量)だが、基準を満たしていれば許可することとなる。

報告事項 1 第1回検証委員会会議録について
2 第1回技術検討委員会の開催について

資料 1 戸塚区品濃町最終処分場の埋立状況と経緯
2 第1回戸塚区品濃町最終処分場検証委員会会議録
3 「戸塚区品濃町最終処分場技術検討委員会」の開催について